



水道管理システムの説明を受ける吉村氏

# 「やくも水神」 6000施設達成

## 効率的な施設管理を実現

### 小松電機産業 浜田市で監視施設視察会

小松電機産業は5月15日、「浜田市統合監視システム視察会及び講演会」を開催した。同社が今年3月、島根県浜田市で完工したクラウド型監視システム(「やくも水神」Gシリーズ)の視察とともに、グローバルウォータ・ジャパン代表の吉村和就氏が講演した。

### 吉村氏が海外展開で講演

同社は2000年9月、クラウドコンピューティングの先駆けとして、インターネット・iモード管理制御システム「やくも水神」ネットワークシステムを発表。プログラミン言語「Ruby」で構築し、東京と島根の東西2カ所のデータセンター運用による防災体制の強化などを進めながら、災害に強いネットワークづくり、経費削減・効率的な施設管理の実現に貢献してきた。

2010年6月には、「やくも水神」Gシリーズを発表。アイパッド・スマートフォン・各種スマートフォンなど高機能モバイル端末での管理、グループマップによる地図画面をいち早く構築した。

年10月、旧自治体で異なっていた監視装置の一元化事業審査を、プロポーザル方式による入札で実施。機能やコスト、防災面を総合的に勘案し、「やくも水神」Gシリーズに決定した。

くも水神」Gシリーズに決定した。同社は水関連施設202カ所(上水道73カ所、簡易水道・工業用水105カ所、下水道施設24カ所)の監視を行っている。視察会には、吉村代表や企業関係者ら約50人が出席。冒頭、小松昭夫・同社代表取締役が「浜田市の水関連施設の監視数は全国最大規模。最先端技術による施設管理を、低コストで実現したシステムの体感」と挨拶した。

白瀬巨・浜田市上下水道部工務課水源係長は同市水道施設の概要とともに、「山間部の施設も迷わずたどり着け、情報の共有化にも役立つ」と感想を紹介。続いて、同社の社員が経緯および提案内容、現場施工事例など浜田市統合監視システムの概要を説明した。

続いて、2班に分かれて、モバイル端末操作体験、浄水場内施設見学を随時実施。この間、参加者は積極的に質問するなど、関心の高さをうかがわせた。同社内に移動して行われた講演会は、同社社員の高阿虎氏が馬頭琴を演奏後、吉村代表が「海外水ビジネスの動向と日本の戦略」と題して講演した。



小松代表取締役

て、インターネット・iモード管理制御システム「やくも水神」ネットワークシステムを発表。プログラミン言語「Ruby」で構築し、東京と島根の東西2カ所のデータセンター運用による防災体制の強化などを進めながら、災害に強いネットワークづくり、経費削減・効率的な施設管理の実現に貢献してきた。

2010年6月には、「やくも水神」Gシリーズを発表。アイパッド・スマートフォン・各種スマートフォンなど高機能モバイル端末での管理、グループマップによる地図画面をいち早く構築した。

年10月、旧自治体で異なっていた監視装置の一元化事業審査を、プロポーザル方式による入札で実施。機能やコスト、防災面を総合的に勘案し、「やくも水神」Gシリーズに決定した。

くも水神」Gシリーズに決定した。同社は水関連施設202カ所(上水道73カ所、簡易水道・工業用水105カ所、下水道施設24カ所)の監視を行っている。視察会には、吉村代表や企業関係者ら約50人が出席。冒頭、小松昭夫・同社代表取締役が「浜田市の水関連施設の監視数は全国最大規模。最先端技術による施設管理を、低コストで実現したシステムの体感」と挨拶した。

白瀬巨・浜田市上下水道部工務課水源係長は同市水道施設の概要とともに、「山間部の施設も迷わずたどり着け、情報の共有化にも役立つ」と感想を紹介。続いて、同社の社員が経緯および提案内容、現場施工事例など浜田市統合監視システムの概要を説明した。

続いて、2班に分かれて、モバイル端末操作体験、浄水場内施設見学を随時実施。この間、参加者は積極的に質問するなど、関心の高さをうかがわせた。同社内に移動して行われた講演会は、同社社員の高阿虎氏が馬頭琴を演奏後、吉村代表が「海外水ビジネスの動向と日本の戦略」と題して講演した。

1市3町1村の合併で、2005年10月に誕生した浜田市は2010

年10月、旧自治体で異なっていた監視装置の一元化事業審査を、プロポーザル方式による入札で実施。機能やコスト、防災面を総合的に勘案し、「やくも水神」Gシリーズに決定した。

くも水神」Gシリーズに決定した。同社は水関連施設202カ所(上水道73カ所、簡易水道・工業用水105カ所、下水道施設24カ所)の監視を行っている。視察会には、吉村代表や企業関係者ら約50人が出席。冒頭、小松昭夫・同社代表取締役が「浜田市の水関連施設の監視数は全国最大規模。最先端技術による施設管理を、低コストで実現したシステムの体感」と挨拶した。

白瀬巨・浜田市上下水道部工務課水源係長は同市水道施設の概要とともに、「山間部の施設も迷わずたどり着け、情報の共有化にも役立つ」と感想を紹介。続いて、同社の社員が経緯および提案内容、現場施工事例など浜田市統合監視システムの概要を説明した。

続いて、2班に分かれて、モバイル端末操作体験、浄水場内施設見学を随時実施。この間、参加者は積極的に質問するなど、関心の高さをうかがわせた。同社内に移動して行われた講演会は、同社社員の高阿虎氏が馬頭琴を演奏後、吉村代表が「海外水ビジネスの動向と日本の戦略」と題して講演した。